

第2次 加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画



令和8年3月

加須市

第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画策定に当たって

市長あいさつ

「LOHAS Station かぞわたらせ」 の実現を目指して



渡良瀬遊水地は、平成24年7月にラムサール条約湿地として登録されました。治水・利水の機能のみならず、多様な動植物の宝庫でもある重要な湿地環境は、本市の有する大きな魅力の1つです。ラムサール条約の理念である湿地の「保全(・再生)」「ワイズユース(賢明な利用)」「交流・学習(CEPA)」に関する利活用の取組を推進していくことは、本市の大きな責務といえます。

また、水・空・緑の広大な空間を有する渡良瀬遊水地の周辺は、「道の駅かぞわたらせ」や「渡良瀬総合グラウンド」、「三県境」などが立地し、様々なレクリエーションやスポーツ、イベントの開催等により、多くの人を訪れる、非常に魅力的なエリアとなっています。

こうした状況を踏まえ、渡良瀬遊水地及びその周辺の魅力がさらに向上し、市民の誇りにもつながるよう、本計画では、基本コンセプトに「LOHAS Station かぞわたらせ」を掲げています。豊かな自然や多様な地域資源を有する「かぞわたらせ」一帯のエリアを、健康・環境・持続可能な社会生活に重点を置いた生活スタイルの出発点と見立て、ここを拠点に、市民をはじめ、より多くの人々が様々な活動や交流を展開することができるよう、日常に渡良瀬遊水地が溶け込む環境づくりを目指そうとするものです。

その実現に向け、市民や事業者、各種団体等の皆さまのご理解をいただき、協働・連携を深めながら、積極的に進めてまいります。

結びに、この計画の策定にご協力いただいた加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画委員会の皆さまをはじめ、貴重なご意見をお寄せくださった皆さまに心より感謝申し上げますとともに、渡良瀬遊水地及びその周辺の利活用を促す様々な取組へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和8年3月

加須市長

角田守良

目次

1	はじめに	p.1
	1-1 背景と策定の目的	1
	1-2 計画の位置付け	2
	1-3 計画の期間	3
	1-4 計画の対象地	3
2	渡良瀬遊水地を取り巻く状況	p.4
	2-1 渡良瀬遊水地	4
	2-2 周辺の主な施設等	5
	2-3 渡良瀬遊水地近隣市町の施設	11
	2-4 北川辺地域の人口等	12
3	計画策定に当たり踏まえるべき視点	p.14
	3-1 基本的な条件	14
	3-2 社会情勢の変化	15
	3-3 計画策定に当たっての6つの課題	17
4	計画策定の3つの戦略	p.19
5	計画の方針	p.20
	5-1 基本理念・基本コンセプト	20
	5-2 基本方針	22
	5-3 施策体系	23
	5-4 個別方針・個別施策	26
	基本方針Ⅰ	27
	基本方針Ⅱ	30
	基本方針Ⅲ	34
	基本方針Ⅳ	37
	基本方針Ⅴ	42
	全体構成図	45
	スキーム図	46

6**計画の推進に向けて****p.47**

6-1	計画の進行管理	47
6-2	計画の推進体制	48

7**資料編****p.49**

7-1	渡良瀬遊水地の歴史と機能	49
7-2	計画策定経過	59
7-3	計画策定体制	60
7-4	用語解説	66

1 はじめに

1-1 背景と策定の目的

平成24年7月に渡良瀬遊水地がラムサール条約の登録湿地になったことを機に、条約の目的の一つである「ワイズユース(賢明な利用)」を進めるため、本市では平成27年3月に「加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」(以下、「第1次計画」と表記)を策定しました。その後、変化する実情に即するため、平成31年に一部改訂を行いました。以降、策定から10年が経過し、コロナ禍等により社会情勢が大きく変化するとともに、市民の自然環境との共生や地域の活性化に対する意識の高まりに伴い、遊水地の環境保全をはじめ、「柳生駅周辺の活性化」や「渡良瀬遊水地のさらなる利活用の推進」に関する期待の声も大きくなっています。こうした状況や、これまでの第1次計画の取組・実績とそれに伴う課題等を踏まえ、渡良瀬遊水地のワイズユースを継続的に推進することを基本としつつ、渡良瀬遊水地をいかした北川辺地域のさらなる活性化を図るため、第1次計画の見直しを含めた「第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」の策定を行うものです。

ラムサール条約とは？

ラムサール条約は昭和46年(1971年)2月2日にイランのラムサールという都市で開催された国際会議で採択された、「特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約」です。採択の地にちなみ、一般に「ラムサール条約」と呼ばれています。

湿地の「保全(・再生)」と「ワイズユース(賢明な利用)」、これらを促進する「交流、学習(CEPA[※])」。これら3つが条約の基盤となる考え方です。

※交流、能力養成、教育、参加、普及啓発(Communication, Capacity building, Education, Participation and Awareness)

ワイズユースとは？

ラムサール条約では、地域の人々の生業や生活とバランスのとれた保全を進めるために、湿地の「賢明な利用(Wise Use:ワイズユース)」を提唱しています。「賢明な利用」とは、湿地の生態系を維持しつつそこから得られる恵みを持続的に活用することです。

注)本計画の文章内での表記について

●渡良瀬遊水地利活用推進計画関連

:「渡良瀬遊水地利活用推進計画(平成27年3月策定、平成31年一部改訂)」については、「第1次計画」と表記します。

:「第2次加須市渡良瀬遊水地利活用推進計画」については、文脈に応じて「第2次計画」又は「本計画」と表記します。

●渡良瀬遊水地関連

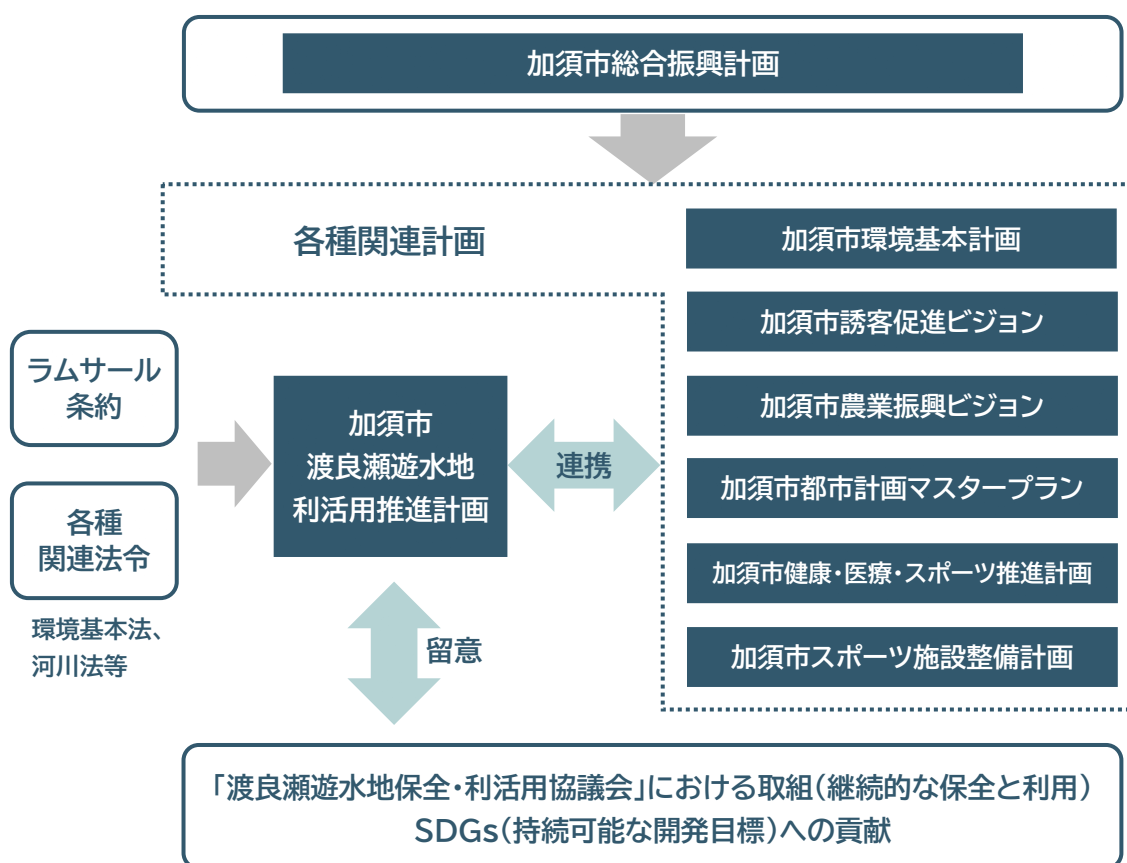
:固有名詞として使用する場合は「渡良瀬遊水地」、前後の文脈から遊水地の状況や機能等を表す場合は「遊水地」と表記します。

1-2 計画の位置付け

本計画は、渡良瀬遊水地の利活用を促進するため、ラムサール条約の理念を踏まえつつ、将来像の共通認識を促し、その実現を目指していくための計画であり、策定に当たっては、「加須市総合振興計画」を上位計画として、「加須市環境基本計画」をはじめ、各種関連計画との連携を図ります。

本計画に基づく施策や事業の実施に際しては、「渡良瀬遊水地保全・利活用協議会」における取組(継続的な保全と利用)や、「SDGs(Sustainable Development Goals)持続可能な開発目標」への貢献に留意するものとします。

なお、本計画は、「加須市総合振興計画」における将来都市像実現のための関連計画に位置付けられますが、必ずしも年度ごとの予算措置と連動しない、長期的な目標・ビジョンとしての性格を有する計画であることから、将来にわたる渡良瀬遊水地の利活用に関する夢のある将来像を描き、その実現を見据え、多種多様なアイデアを含む施策・事業等を定めるものとします。



1-3 計画の期間

本計画における長期的な視点に立った渡良瀬遊水地の利活用に関する将来像を見据えつつ、当面、実施可能なあらゆる施策・事業等に取り組んでいく計画の期間を5年間(令和8年度～令和12年度)と設定します。

なお、本計画に示す個別事業の実施時期の目安については、短期を5年間、中・長期をそれ以上(5年間の計画期間にとらわれず適宜実施を目指すもの)として設定します。

年度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
加須市総合振興計画	基本構想 (令和3年度～令和12年度)									
						後期基本計画				
加須市環境基本計画	全体計画 (令和3年度～令和12年度)									
						後期計画				
加須市 渡良瀬遊水地利活用推進計画	第1次 (平成27年度～令和7年度)					第2次 (令和8年度～令和12年度)				

1-4 計画の対象地

本計画では、渡良瀬遊水地の本市該当エリア、北川辺地域及びその周辺を対象地とします。

注)本計画において対象地を表現する際には、渡良瀬遊水地が本市の有する大きな魅力の1つであることや、渡良瀬遊水地と周辺の地域資源とが一体となって利活用を推進していくこと等を念頭に、道の駅に名称として使用され、市内外での認知度も高まりつつある「かぞわたらせ」の呼称を用いるものとします。

2 渡良瀬遊水地を取り巻く状況

2-1 渡良瀬遊水地

渡良瀬遊水地は、栃木県、群馬県、埼玉県、茨城県の4県にまたがる日本最大の遊水地です。南北に9km、東西に6kmあります。広大な自然環境とオープンスペースをいかし、自然観察や釣り、水上スポーツ、スカイスports、サイクリング等で多面的に利用されています。平成24年にラムサール条約登録湿地となり、今後のさらなる利活用が期待されています。

日常的な管理は、主に、国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所や一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団により行われています。



■面積

	渡良瀬遊水地	ラムサール条約登録湿地	
		全体	本市該当エリア
面積	約3,300ha	約2,861ha	約51ha(約1.7%)
周囲延長	約30km	—	—

■自然

渡良瀬遊水地の自然環境は緑豊かな広大なヨシ原が特徴で、遊水地全体の面積の内2,500haが植生におおわれており、本来の低地の自然環境が保全された貴重な存在となっています。多数の動植物が生息・生育しており、植物約1,000種、鳥類約275種、昆虫類(陸上、水中)約1,700種、魚介類約78種がいます。これは、遊水地としての機能を保持するために、広大なヨシ原や沼をごく自然にしてきた結果によるものです。近年は、人工巣塔でコウノトリの繁殖も見られるようになりました。

一方で、近年はイノシシが多く目撃されるようになり、貴重な湿原や生態系への懸念や、周辺農地等への被害が発生しています。

■歴史

かつて、渡良瀬遊水地の一帯は周辺より土地が低く、川の水が自然に遊水する大湿地帯でした。渡良瀬川、思川(おもいがわ)、巴波川(うずまがわ)の下流部の洪水被害とともに、足尾銅山から渡良瀬川に流れ出した鉱毒被害に対応するため、明治43年に内務省による改修事業が始まり、昭和5年に渡良瀬遊水地が完成し現在の形になりました。これにより、洪水調整機能は増大しました。

当初の遊水地の予定地は、埼玉県北埼玉郡川辺村及び利島村(現在の北川辺地域)でしたが、反対が強く、谷中村に変更となりました。当時、国会議員の田中正造による反対運動は続きましたが、計画は進み、谷中村は廃村となりました。旧谷中村は現在の谷中湖の北側にあります。

2-2 周辺の主な施設等

①道の駅かぞわたらせ

道の駅かぞわたらせは、県道9号佐野古河線沿い、渡良瀬遊水地の堤防の上に立地しています。令和2年に「道の駅きたかわべ」から名称を変更し、「道の駅かぞわたらせ」になりました。旧スポーツ遊学館の建物等を道の駅の一施設として利活用しています。物産販売施設、食事処、軽食店があるほか、レンタサイクルの貸し出し等を行っています。駐車場には、大型車22台、普通車33台を停めることができます。また、令和5年、旧スポーツ遊学館の建物にコミュニティ放送局「FMわたらせ」が開局しました。

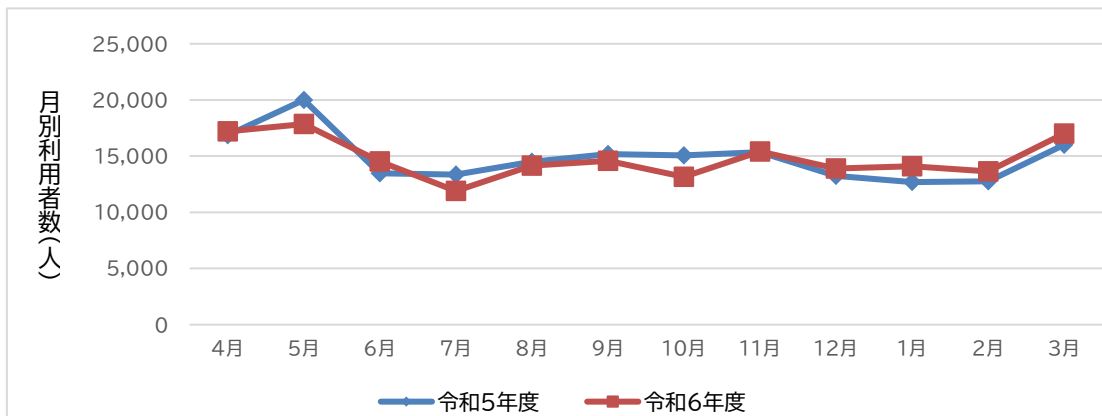
令和6年度利用者(レジ通過者)は年間合計177,463人、月平均では14,789人となっています。令和5年度と比較すると年間1,020人減、月平均85人減となっており、令和7年度の4～6月利用者の状況も踏まえると全体的には減少傾向がうかがえます。



■建物の概況

建物	物産販売施設	旧スポーツ遊学館
主な機能	物品販売、飲食、休憩所	物品販売、FM局
建築年月日	平成16年10月31日	平成15年3月31日
床面積	388.80㎡	539.91㎡
利用時間	8時から17時まで	9時から17時まで

■道の駅かぞわらせ利用者の推移



②北川辺地域の公共交通

東武日光線が北川辺地域北部を東西に横断しており、東側の谷田川と渡良瀬川の合流地の近くに新古河駅、西側に柳生駅があります。新古河駅は橋上駅舎で北口・南口がありますが、柳生駅は南口のみです。また、柳生駅は渡良瀬遊水地中央エントランスの最寄駅です。

北川辺地域を運行する民間路線バスはありません。また、タクシー交通は、発着地のいずれもが北川辺地域の場合、民間タクシー事業者による運行は提供されていません。北川辺地域から出発する民間タクシーは、群馬県板倉町・明和町・館林市方面及び茨城県古河市方面のみ配車が可能です。

本市のコミュニティバスとして、新古河駅から柳生駅、北川辺総合支所等を経由し加須駅及び埼玉県済生会加須病院に向かうシャトルバスが月曜日から土曜日に一日当たり往復4便運行しており、誰でも乗車することが可能です。渡良瀬遊水地に近いバス停留所は柳生駅、小野袋、柏戸の3か所となります。令和6年度シャトルバス利用者(新古河駅発・済生会加須病院発の合計)は年間4,854人、一日当たり約16人となっています。コロナ禍後の令和4年度と比較すると、年間316人増、一日当たり約1人増の結果であり、全体的には微増傾向がうかがえます。

さらに、デマンド型乗合タクシーが運行しており、北川辺地域は利根川以北の北エリアに該当します。乗り継ぎ場所である道の駅童謡のふる里おとねや、エリア外の乗り入れポイントである加須東病院、大利根総合福祉会館、栗橋駅西口、カインズモール大利根、ピアシティ大利根に乗り継ぎせずにアクセスすることもできます。



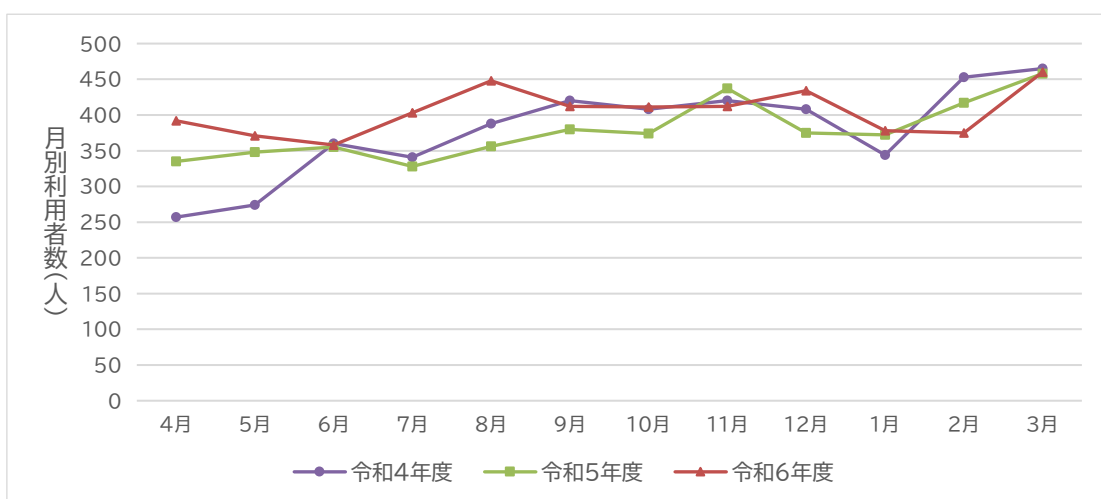
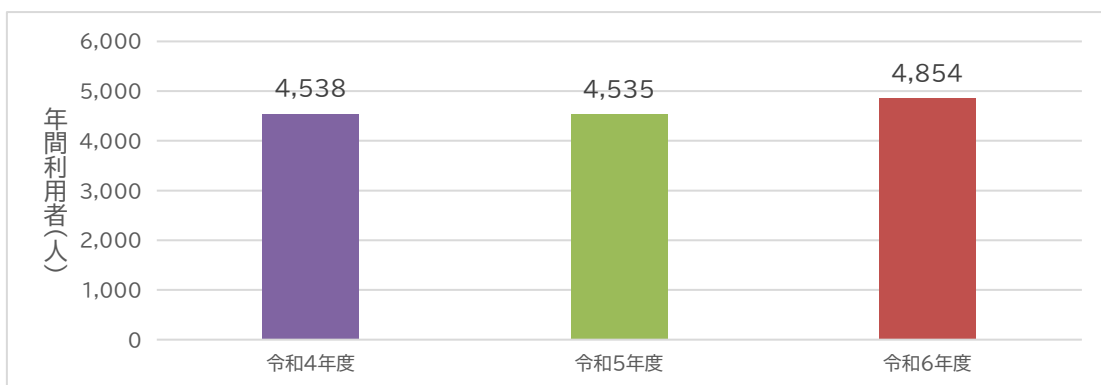
■東武鉄道駅の1日平均乗降人員

(人)

駅名	令和5年度		令和6年度	
	定期外・定期 合計	うち定期	定期外・定期 合計	うち定期
栗橋駅	10,131	6,282	9,733	5,828
新古河駅	1,179	878	1,197	864
柳生駅	1,037	768	1,027	750
花崎駅	9,567	7,348	9,690	7,480
加須駅	12,532	9,094	12,566	9,068

※定期…定期券(通勤・通学の2種類)

■コミュニティバス「かぞ絆号」シャトルバス利用状況



③ 渡良瀬総合グラウンド

渡良瀬総合グラウンドには、野球場、テニスコート、サッカー場、多目的広場、自由広場が整備され、平日の稼働率は低くなっていますが、休日は高い稼働率となっており、特に、野球場の稼働率が高くなっています。

■施設概要

- ・野球場2面(外野芝生)
- ・テニスコート4面(ハードコート)
- ・サッカー場(芝生)
- ・多目的広場(土)
- ・自由広場(芝生)

■利用時間

9時から17時まで

■利用料金

- ・野球場 200円(1面 1時間)
- ・テニスコート 200円(1面 1時間)
- ・サッカー場 100円(1面 1時間)
- ・多目的広場 100円(1面 1時間)
- ・自由広場 無料

※相互利用協定(行田市、羽生市、久喜市、茨城県古河市、栃木県栃木市、栃木県小山市、栃木県野木町、群馬県板倉町)地域の在住者は市民と同じ条件で利用できます。同様に、市民はそれらの地域の施設を利用できます。



■渡良瀬総合グラウンド施設稼働率

(%)

区分	平日		休日		備考
	午前	午後	午前	午後	
野球場	0.5	0.5	64.5	55.0	午前 :9時から12時まで 午後 :12時から17時まで
テニスコート	0.7	1.0	43.7	3.6	
サッカー場	0.3	0.3	23.1	22.8	
多目的広場、 自由広場	0.1	0.1	24.6	21.4	

④渡良瀬遊水地周辺の地域資源(三県境、オニバス自生地)

渡良瀬遊水地周辺の観光資源として、三県境やオニバス自生地があります。



－三県境－



－オニバス自生地－

⑤渡良瀬遊水地周辺のその他の施設(北川辺ライスパーク、北川辺郷土資料館、加須未来館)

渡良瀬遊水地周辺のその他の施設として、農業体験施設「北川辺ライスパーク」、「北川辺郷土資料館」、県の施設である加須サイクリングセンターと隣接するプラネタリウム等の科学体験施設「加須未来館」があります。

建物	北川辺ライスパーク	北川辺郷土資料館	加須未来館
主な機能	研修室、料理室、 情報室	展示室	プラネタリウム、天体観 測室、実験室、農産物直 売所、食堂等
建築年月日	平成7年4月1日	平成17年6月30日	平成12年12月28日
床面積	475.19㎡	495.94㎡	1,341㎡
利用時間	9時から17時まで	9時から16時まで	9時から17時まで
休館日	月曜、年末年始	平日、年末年始	火曜、年末年始

⑥ 渡良瀬遊水地及び遊水地周辺のイベント等

渡良瀬遊水地及びその周辺では、多岐にわたるイベント等が年間を通じて開催されています。

開催時期	イベント名称	開催場所	主催者
2月	探鳥ハイキング	渡良瀬遊水地	(一社)加須市物産観光協会
3月	三県境フェア	道の駅かぞわた らせ・三県境	加須市、栃木県栃木市、群馬県 板倉町
	ヨシ焼き	渡良瀬遊水地	渡良瀬遊水地ヨシ焼き連絡会
4月	渡良瀬遊水地クリーン作戦	渡良瀬遊水地	利根川上流河川利用者協議会
6月	彩の国トライアスロンin加須大会 兼 埼玉県総合スポーツ大会トライアス ロン競技会	渡良瀬遊水地内 特設コース	彩の国トライアスロン大会実行 委員会
8月	オニバスフェスタ	オニバス自生地	(一社)加須市物産観光協会
9～10月	かぞ観光サイクリングラリー	市内全域(渡良瀬 遊水地に近接す る施設等を含む)	(一社)加須市物産観光協会
10月	渡良瀬遊水地まつりinKAZO	渡良瀬遊水地	渡良瀬遊水地まつりinKAZO 実行委員会
11月	紅葉チャレンジ トライアスロン・デュ アスロンフェスティバルin加須大会	渡良瀬遊水地内 特設コース	紅葉チャレンジトライアスロン・ デュアスロンフェスティバルin 加須大会実行委員会
	加須市健康づくりウォーク	渡良瀬遊水地内 ウォーキングコース	加須市

2-3 渡良瀬遊水地近隣市町の施設

渡良瀬遊水地近隣市町においては、展示や環境学習、体験活動ができる施設や、スポーツ・レジャーを楽しむことができる施設が多数立地しています。

所在地	施設名	主な機能
栃木県 栃木市	渡良瀬遊水地湿地資料館 (一般財団法人 渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団)	展示、環境学習
	体験活動センターわたらせ (一般財団法人 渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団)	体験活動、展示
	栃木市藤岡歴史民俗資料館	歴史資料館
	渡良瀬遊水地ハートランド城	展示、体験活動
	藤岡渡良瀬運動公園	野球場、サッカー場、陸上競技場、テニスコート
	渡良瀬遊水地子供広場ゾーン	デイキャンプ
栃木県 小山市	渡良瀬遊水地コウノトリ交流館	展示、環境学習
群馬県 板倉町	わたらせ自然館	展示、環境学習

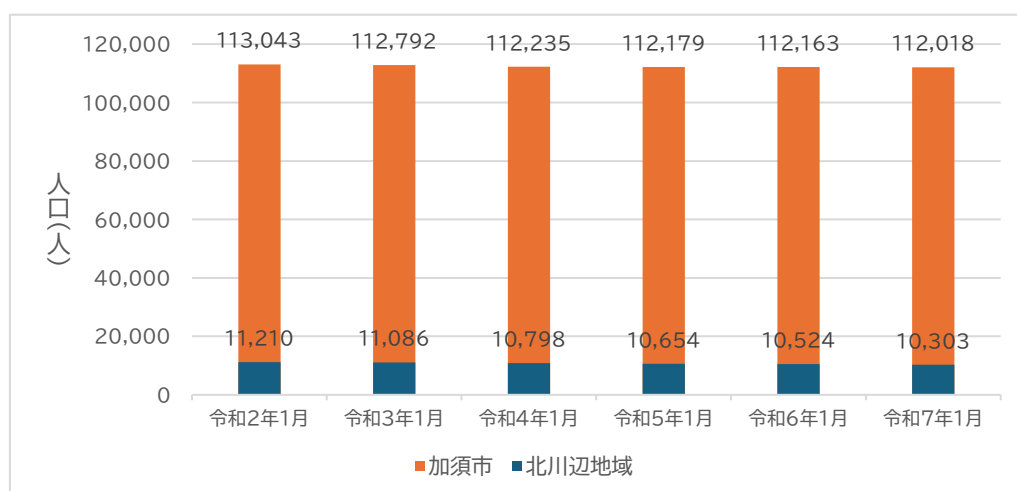
2-4 北川辺地域の人口等

①人口・世帯数

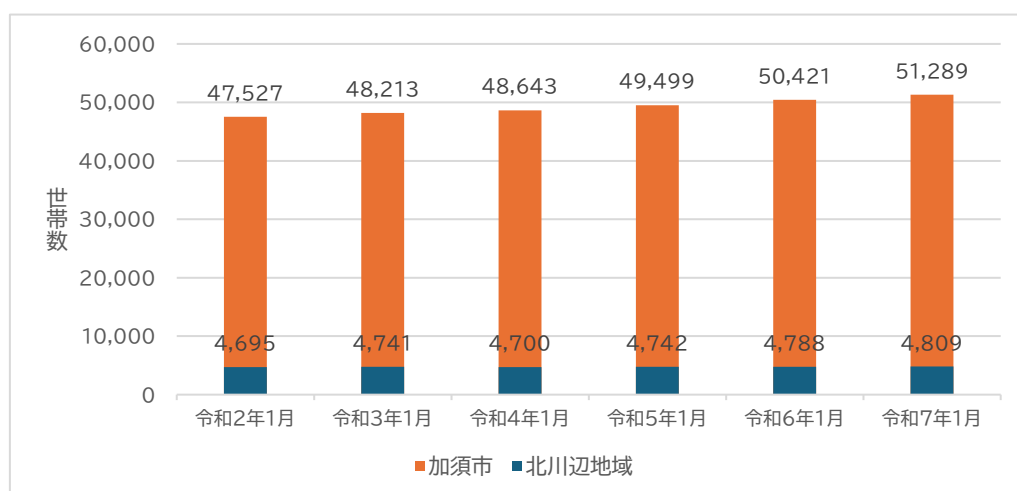
本市の人口は令和7年1月1日現在で112,018人であるのに対し、本計画の対象となる北川辺地域の人口は10,303人となっており、市全体の約9.2%を占めている状況です。なお、北川辺地域においては、令和2年1月からの5年間で907人の減少(▲8.1%)を示しており、これは市全体の1,025人減少(▲0.9%)の動きと比較しても、人口減少傾向が顕著なものとなっています。

本市の世帯数は令和7年1月1日現在で51,289世帯であるのに対し、北川辺地域の世帯数は4,809世帯となっており、市全体の約9.4%を占めている状況です。北川辺地域においては、令和2年1月からの5年間で114世帯の増加(2.4%)を示しており、市全体の3,762世帯増加(7.9%)の動きと比較すると、やや小幅な増加傾向となっています。

■人口の推移



■世帯数の推移



②少子化・高齢化

北川辺地域の年少人口(14歳以下)は、令和7年3月31日現在で711人であり、地域人口10,199人に対する年少人口率は7.0%となっており、加須地域の10.8%、騎西地域の9.3%、大利根地域の11.7%、市全体の10.3%と比較して、少子化が進行している地域であることがうかがえます。

同様に、老年人口(65歳以上)は3,975人、老年人口率は39.0%となっており、加須地域の29.7%、騎西地域の33.4%、大利根地域の32.5%、市全体の31.5%と比較して、高齢化が進行している地域であることがうかがえます。

少子化・高齢化の進行する北川辺地域の平均年齢は53.64歳であり、市全体の平均48.98歳より5歳以上も上回っている状況です。

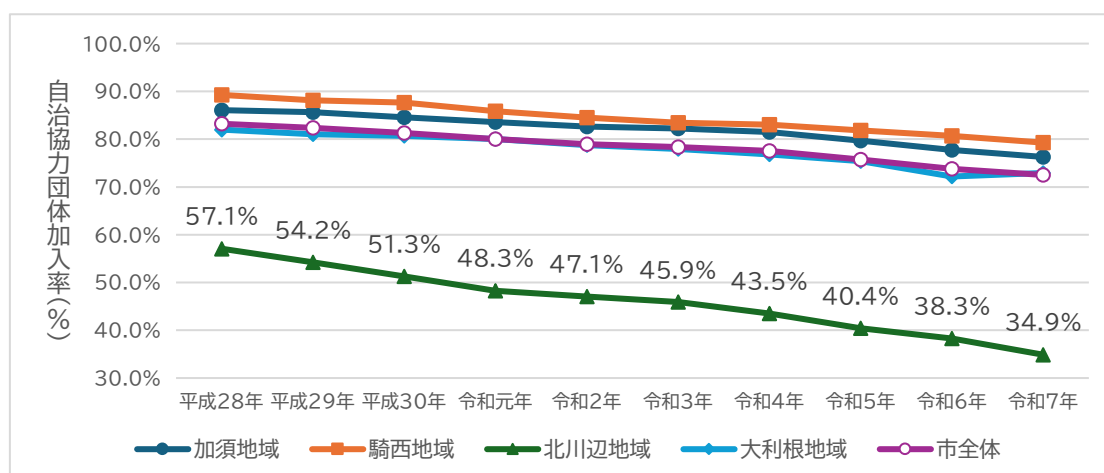
■年少人口率・老年人口率・平均年齢

地域	年少人口率 (14歳以下)	老年人口率 (65歳以上)	平均年齢
加 須 地 域	10.8%	29.7%	48.06歳
騎 西 地 域	9.3%	33.4%	49.96歳
北 川 辺 地 域	7.0%	39.0%	53.64歳
大 利 根 地 域	11.7%	32.5%	48.75歳
市 全 体	10.3%	31.5%	48.98歳

③自治協力団体

北川辺地域の自治協力団体の加入率は令和7年5月1日現在で34.9%であり、10年前となる平成28年の57.1%から大幅に減少しています。また、加須地域の76.3%、騎西地域の79.3%、大利根地域の72.9%と比較しても、北川辺地域の加入率は特に低い状況となっています。

■自治協力団体加入率



3 計画策定に当たり踏まえるべき視点

3-1 基本的な条件

第2次計画の検討の際に踏まえるべき必要な要素を、基本的な条件として4つに分類・整理しました。

1 | 遊水地の環境保全

渡良瀬遊水地の湿地環境は多様な生態系を育てており、ラムサール条約の登録湿地となっています。植物約1,000種、鳥類約275種、昆虫類約1,700種、魚介類約78種が確認されており、うち180種が国指定の絶滅危惧種です。近年は、貴重な植物の盗掘が報告されています。湿地特有の生態系や生き物が暮らす環境の保全に向け、湿地教育の推進等による周知・啓発が期待されます。

2 | 治水と歴史、自然環境保全に関する周知・啓発

この一帯は、かつて地形的に周辺より一段と低く洪水が自然に遊水する大湿地帯であり、渡良瀬川、思川(おもいがわ)、巴波川(うずまがわ)等の下流部の洪水被害とともに、足尾銅山から渡良瀬川に流れ出した鉱毒による被害に対応するために、明治43年から内務省による改修事業が始まり、昭和5年に渡良瀬遊水地が完成しました。その後、相次ぐ大洪水を契機に、新しく囲繞堤(いぎょうてい)や越流堤(えつりゅうてい)を設け、大きな洪水の時だけ調節池の中に川の水が入るようにし、洪水調節機能を増大させて現在の姿となりました。

遊水地の予定地は、埼玉県北埼玉郡川辺村及び利島村(現在の北川辺地域)でしたが、田中正造らによる反対が強く、谷中村に変更となり、現在の谷中湖となりました。本市と渡良瀬遊水地の関係は深く、歴史を含めた周知・啓発が期待されます。

3 | 遊水地を活用したアクティビティとの連携

渡良瀬遊水地では、熱気球、バードウォッチングのほか、SUP(スタンドアップパドルボード)や釣り等のウォーターアクティビティや、サイクリング、トライアスロンなど、様々なアクティビティが行われています。本市では、遊水地南側にグラウンドやテニスコートを有しています。また、道の駅かぞわたらせでは自転車の貸し出しも行っています。アクティビティに関連したイベントや他市町と連携した取組が期待されます。

4 | 地域資源の活用

鉄道は、渡良瀬遊水地の南側を沿うように東武日光線が走っており、東側に新古河駅、渡良瀬遊水地中央エントランスの近くに柳生駅があります。渡良瀬遊水地の近くには、道の駅かぞわたらせ、渡良瀬総合グラウンドがあるほか、埼玉県レッドデータブックで絶滅危惧ⅠA類に分類され、県内希少野生動植物種に指定されているオニバスの自生地のほか、全国的にも珍しい平地の三県境(埼玉県・栃木県・群馬県の行政界)があります。さらに、北川辺地域の歴史や文化がわかる郷土資料館や農業体験施設ライスパークがあります。鉄道駅の立地をいかし、周辺資源と連携した利活用が期待されます。

3-2 社会情勢の変化

第2次計画の検討の際に踏まえるべきトレンド、社会情勢の変化は次の7つです。

1 | 余暇重視のライフスタイルの広がり

近年、趣味・余暇分野の流行や市場拡大がメディアにおいて取り上げられています。実際に、「レジャー白書2024^{*}」によると、仕事より余暇に生きがいを求める人の割合は、平成21年に18.6%でしたが、令和5年には34.1%まで大きく上昇しています。人々が余暇に「自然とのふれあい」や「体験」を求める傾向にあり、余暇活動のアウトドア志向や体験型レジャーへの関心が高まっています。

※公益財団法人日本生産性本部により余暇活動状況について取りまとめられた白書

2 | 農業環境への関心の高まり

埼玉県内の「深谷テラス ヤサイな仲間たちファーム」や茨城県内の「行方ファーマーズビレッジ」など、農業体験や6次産業をテーマにする施設やコンテンツが増加しているほか、特に、コロナ禍以降においては、都市部の住民を中心に、市民農園や貸農園、農園のオーナー制度など、農作業への関心が高まる傾向にあります。

3 | ウェルビーイング^{*}志向の高まり

まちづくり分野においては、働き方改革に端を発し、ウェルビーイング志向が高まっています。ワークライフバランスが重要視される中、まちづくりの一つの大きなゴールとして、ウェルビーイングを示す市民の幸福度が指標として用いられるケースが増加しています。

※心身ともに健康であり、社会的にも充実して満たされている状態を表す概念

4 | 協働のまちづくり

少子高齢化による人口減少が加速しており、地方部では人口増加のまちづくりから関係人口、交流人口増加のまちづくりにシフトしています。加えて、協働のまちづくりも定着しつつあり、地域団体や市民団体、自治会等が主体となり、行政と協働で地域課題の解決に取り組んでいます。

5 | 加須市として一体感のあるまちづくり

本市は、平成22年に旧加須市、旧騎西町、旧北川辺町、旧大利根町が合併し、現在の加須市となりました。令和7年に合併15周年を迎え、さらなる一体感のあるまちづくりが求められています。

6 | 治水・防災への関心の高まり

防災・治水分野においては、災害の激甚化や令和元年東日本台風等の全国的に多発する水害により、ダムや堤防等への関心が高まっています。治水を目的に建設された遊水地として、防災や治水について発信・啓発していく必要があります。

7 | SDGs に関する取組の実施

行政、企業にかかわらず SDGs(Sustainable Development Goals)「持続可能な開発目標」を達成することが重要とされています。

本計画においても、遊水地の保全や事業推進を通して、この取組に寄与していきます。

ー本計画に関連する SDGsー



3-3 計画策定に当たっての6つの課題

これまでの第1次計画の取組・実績を踏まえた第2次計画策定に当たっての課題は次の6つです。

1 | 市民の渡良瀬遊水地に対する親近感の醸成

渡良瀬遊水地のうち、本市該当エリアは非常に限られており、湿原等の自然環境をほとんど見ることはできません。また、渡良瀬遊水地と隣接するエリアは、堤防と谷田川を挟んでおり、景観としても高い堤防にさえぎられることから、市民にとって、生活の中で渡良瀬遊水地とのつながりを感じる事が難しくなっています。

2 | 周辺施設等への制約条件・地理的特性を踏まえた取組の推進

道の駅かぞわたらせや渡良瀬総合グラウンド等の周辺施設には、多くの制約条件があります。駐車場の拡大等が課題となっている道の駅ですが、堤防上に立地するため高低差により敷地面積や周辺道路との接続が制限されています。また、谷田川と堤防の間にあるグラウンド等は、河川管理の観点から活用の制約条件が多く、施設機能の強化が進んでいない現状にあります。さらに、施設周辺の県境の複雑さは、三県境という魅力を生み出している一方で、利活用を難航させる一因にもなっています。

なお、令和6年度に整理した事業化検討事項60提案のうち25件において、制約条件・地理的特性が課題として挙げられています。

3 | 豊富なアイデアに対する担い手不足の解消

自然環境、サイクリングコース、ウォータースポーツ、周辺の田園風景や暮らし、農業、歴史、治水学習など、渡良瀬遊水地の周辺は多くの魅力であふれており、活用するためのアイデアは尽きませんが、担い手不足によりアイデアの実現や魅力の活用が進まない現状にあります。

なお、令和6年度に整理した事業化検討事項のうち16件において、担い手不足が課題として挙げられています。

4 | 柳生駅のポテンシャルの活用

東武日光線柳生駅は、渡良瀬遊水地中央エントランスの最寄駅であり、都内へのアクセス性が高い駅となっています。しかし、駅と渡良瀬遊水地や周辺観光資源を結ぶ交通手段がなく、駅・鉄道を活用した渡良瀬遊水地の利用が難しくなっています。地域からも橋上化、北側整備の声が上がっていますが、利用者の少なさから、実現が難しい状況にあります。渡良瀬遊水地と連携した駅利用者の増加、整備が期待されます。

5 | 共通性・ストーリー性の強化

渡良瀬遊水地を活用した事業案やアクティビティは、多岐にわたっていますが、共通のテーマがなく、個別に独立して行われています。渡良瀬遊水地の利活用において、1つの共通テーマを持つことで、情報や事業の連携による相乗効果が期待されます。

6 | 他市町との連携の強化と本市の独自性の創出

渡良瀬遊水地の多くの面積を有する栃木県栃木市では、熱気球イベントをはじめ、湿地をいかした取組やサイクリング・デイキャンプ等が行われています。湿地部分を有する栃木県小山市ではコウノトリに関する取組、群馬県板倉町は谷中湖北ブロックに面することからウォータースポーツに関連した取組に注力しています。本市が渡良瀬遊水地の利活用を進めるに当たっては、こうした隣接市町との連携を図り、渡良瀬遊水地をぐるりと囲むエリアを一緒に盛り上げていくとの共通認識を持ちながら、一方で、限られた環境と本市ならではの個性をいかし、かぞわたらせにしかできない渡良瀬遊水地の利活用を検討していく必要があります。

4 計画策定の3つの戦略

6つの課題の内容を踏まえ、第2次計画策定の3つの戦略を以下に整理しました。

戦略1：「かぞわたらせ」の個性は“渡良瀬遊水地の玄関口”

渡良瀬遊水地のある他市町の特徴に比べ、本市の押し出す個性は“玄関口”です。渡良瀬遊水地中央エントランスの最寄駅という柳生駅の立地を活用し、東武鉄道との密接な連携等により、「渡良瀬遊水地に行くなら柳生駅で下車」というイメージづくりをするだけでなく、情報においても「加須市のサイトを見ればすべて分かる」「とりあえず、道の駅かぞわたらせに立ち寄ると渡良瀬遊水地のことが分かる」という状態を創り出し、鉄道での来訪者、車での来訪者、情報において本市が渡良瀬遊水地の玄関口になることを目指すものとします。

戦略2：市民みんなが「かぞわたらせ」を身近に感じられる存在に

本計画は、渡良瀬遊水地の利活用に関する計画であり、北川辺地域における地域コミュニティの維持や交流人口の拡大など、地域活性化にも大きく寄与するものです。情報発信やソフト事業の取組においては、エリアを本市の全域を対象とし、加須地域、騎西地域、大利根地域における渡良瀬遊水地の認知度の向上と心理的距離の短縮により、本市全域の一体感づくりの一助となることを目指すものとします。

戦略3：行政による担い手育成と市民協働

本市では、既に「渡良瀬遊水地まつり in KAZO」等の各種イベントを実施していることから、今後実施が期待される新たなイベント等については、行政が主体となって進めるのではなく、担い手を育成し、間接的な支援を通じて取組を後押しすることが重要です。担い手は、渡良瀬遊水地が好きな人、渡良瀬遊水地で何かをやってみたい人、地域活動に関わってみたいがどうしたらよいかわからない人など、地域住民に限らず市内外を対象にしていくことを目指すものとします。

▼ 集約

3つの戦略(まとめ)：市民とともに将来像を描き、実現していくための計画

本計画は、市民とともに渡良瀬遊水地の立地条件や特性を踏まえた利活用の共通のイメージ、将来像を描き、共有していくための計画です。その将来像の実現に向けた協働の取組が、行政や一部の市民・団体のみならず、より多くの担い手により今後も継続的かつ活発に行われていくよう、誰にも身近で分かりやすく、親しみや興味を感じてもらえる計画づくりを目指すものとします。

5 計画の方針

5-1 基本理念・基本コンセプト

■ 基本理念

渡良瀬遊水地の利活用に際しては、ラムサール条約の理念である湿地の「保全(・再生)」「ワイルドユース(賢明な利用)」「交流、学習(CEPA)」の推進の考え方にに基づきながら、有効な利活用策の積極的かつ継続的な実施に努めていくものとします。

■ 基本コンセプト

渡良瀬遊水地の利活用における基本理念や、計画策定の戦略の内容等を踏まえ、第2次計画の将来像となる基本コンセプトを下記の通りとします。

LOHAS Station かぞわたらせ

－ “LOHAS Station かぞわたらせ” とは －

LOHAS(Lifestyle of Health and Sustainability)は、健康的・環境・持続可能な社会生活に重点をおいた生活スタイルを示しています。Station は東武日光線柳生駅と道の駅かぞわたらせに掛けています。また、駅は旅の出発地や出会いを象徴する言葉でもあります。

「LOHAS Station かぞわたらせ」は、水、空、湿地、自然、生き物、農業、スポーツ、健康づくり、生活、地域コミュニティ、来訪者、周辺市町等が交わる様子をイメージし、渡良瀬遊水地での活動の出発駅としての「かぞわたらせ」を通じて、日常に渡良瀬遊水地が溶け込む、持続可能なライフスタイルを示しています。

本計画では、多様な地域資源を有する本市における渡良瀬遊水地周辺を LOHAS が集まる駅に見立て、「LOHAS Station かぞわたらせ」の実現を念頭に、市民をはじめ、より多くの人々が利活用策に関わり、交流する、協働の取組を進めていくものとします。

高齢化社会において健康づくりは重要なテーマであり、本市が推進する KAZOLING や渡良瀬総合グラウンドとも親和性が高くなっています。また、趣味や余暇に重きを置く近年の需要を考慮すると、生活の一部になるほど重要な存在になること、ライフスタイルの一部になることが持続可能な利活用に必要であると考えられます。

「LOHAS Station かぞわたらせ」というフレーズは、上記に示した意味に加え、多様な意味が込められています。以下に、フレーズに込められた解釈の内容と、フレーズが持つ楽しいな雰囲気を表したロゴマークを示します。

LOHAS

《解釈》

- 渡良瀬遊水地の治水による持続可能な生活(Sustainability)
- 渡良瀬遊水地と周辺自然環境の保全(Sustainability)
- 渡良瀬遊水地周辺の自然環境をいかした農業の保全(Sustainability)
- 農業を生業とする生活の保全(Lifestyle of Sustainability)
- 渡良瀬遊水地の立地をいかしたスポーツ振興による健康づくり(Lifestyle of Health)
- 渡良瀬遊水地の環境を市民が身近に感じられる(Lifestyle of Sustainability)
- 地産地消(Sustainability)
- 鉄道で来訪(Sustainability)

Station

《解釈》

- 道の“駅”、柳生“駅”
- 旅の起点・通過点・目的地
- 人と人が出会う場所、モノが交差する場所
- 三県境(3つの県が交差する場所)
- 地域活動を始める出発地点
- 渡良瀬遊水地をめぐるサイクリング等の出発地点
- 渡良瀬遊水地と本市のつながりが感じられる場所
- 共通プラットフォームづくり

－ “LOHAS Station かぞわたらせ” のロゴ －



5-2 基本方針

第2次計画の将来像となる基本コンセプトの実現に向けた、取組の柱となる5つの基本方針を設定します。

I 渡良瀬遊水地を含む流域環境の保全 Environmental Sustainability

- 渡良瀬遊水地の有する豊かな水辺・湿地の自然環境をはじめ、その周辺一帯のエリアを特徴づける貴重な水・緑の環境を、将来にわたり守り、いかしていきます。

II 地域資源を活用した様々な活動や健康づくりの推進 Wellness and Activity

- 渡良瀬遊水地及びその周辺エリアが有する機能をいかしながら、より多くの人たちの健康や充実した生活スタイルを支える環境づくりを進めていきます。

III 地域資源と連携した拠点整備と回遊性の向上 Station and Connectivity

- 渡良瀬遊水地及びその周辺エリアにおいて拠点となる施設の機能を強化しながら、それらと点在する地域資源とのアクセス性を高める円滑な移動手段を確保し、エリアの回遊性や一体性を高めていきます。

IV 渡良瀬遊水地のある暮らしの提案 Lifestyle Proposal

- 渡良瀬遊水地及びその周辺エリアが、日々の安心な暮らしや快適な自然環境、様々な活動に寄与する身近な存在として、多くの人たちのライフスタイルの一部となるための環境づくりを進め、そうした魅力を広く伝えていきます。

V 市民主体・協働事業の推進 Resilient Promotion System

- 渡良瀬遊水地及びその周辺エリアの魅力に対するみんなの共通認識を高め、あらゆる利活用策に、より多くの人たちが主体的に関わり、活動の輪をさらに広げていく環境づくりを進めていきます。

5-3 施策体系

5つの基本方針に基づきながら、具体的な事業等の方向性を示す個別方針や個別施策について、それぞれの分野や、目的・手段の関係が分かりやすいよう体系的に組み立て整理します。






▶ 基本理念 「保全（・再生）」「ワイズユース（賢明な利用）」「交流・学習（CEPA）」の推進

▶ 基本コンセプト **LOHAS Station かぞわたらせ**



▶ 5つの基本方針	▶ 個別方針	▶ 個別施策
基本方針Ⅰ 渡良瀬遊水地を含む 流域環境の保全	1 遊水地の保全	① 遊水地保全活動への支援・協力
	2 オニバス自生地の保全	① オニバス自生地保全活動への支援・協力
	3 農業用地の保全	① 農業用地の保全への支援・協力
	4 環境に関するコンテンツの充実	① 自然学習系コンテンツの実施促進 ② 農業系（ライスパーク）コンテンツの実施促進 ③ 他市町との連携強化
基本方針Ⅱ 地域資源を活用した 様々な活動や健康づくりの 推進	1 スポーツ・健康づくり拠点の 利用促進	① グラウンドの利用環境の確保 ② 道の駅の機能強化 ③ 中央エントランスとの連携強化
	2 地域資源を活用した アクティビティの充実	① グラウンド等の利用促進 ② サイクリング系コンテンツの実施推進 ③ 気球やウォータースポーツ等の環境整備
	3 周辺地域資源の魅力向上	① 三県境の活用推進 ② 田園環境・景観等の活用推進
基本方針Ⅲ 地域資源と連携した 拠点整備と回遊性の向上	1 渡良瀬遊水地の利用拠点の整備	① 道の駅の活用推進
	2 柳生駅の利用促進	① 駅の機能強化
	3 柳生駅を起点とする交通手段の確保	① バスやグリーンスローモビリティ等による移動手段の確保
	4 地域資源間のアクセス性の向上	① 回遊性や一体性の強化
基本方針Ⅳ 渡良瀬遊水地のある 暮らしの提案	1 渡良瀬遊水地関連コンテンツの 周知・啓発	① 治水学習系コンテンツの実施促進
	2 ライフスタイルの提案	① 渡良瀬遊水地を訪れ身近に暮らすライフスタイルの発信 ② 地産地消の推進
	3 来訪者の受け入れ環境の整備	① 来訪を促しもてなす環境づくりやイベント等の実施
	4 ファンのコミュニティ形成	① 交流の場づくり
基本方針Ⅴ 市民主体・協働事業の推進	1 市民団体等の活動促進	① 担い手育成
	2 共通プラットフォームの整備	① 協働体制の強化 ② オリジナルサイト・オリジナルグッズ等の作成・充実

[参考:個別施策とSDGsの対応関係]

					
	貧困をなくそう	飢餓をゼロに	すべての人に健康と福祉を	質の高い教育をみんなに	ジェンダー平等を実現しよう
I-1 遊水地の保全					
I-1-① 遊水地保全活動への支援・協力				●	
I-2 オニバス自生地の保全					
I-2-① オニバス自生地保全活動への支援・協力				●	
I-3 農業用地の保全					
I-3-① 農業用地の保全への支援・協力		●			
I-4 環境に関するコンテンツの充実					
I-4-① 自然学習系コンテンツの実施促進				●	
I-4-② 農業系(ライスパーク)コンテンツの実施促進		●			
I-4-③ 他市町との連携強化					
II-1 スポーツ・健康づくり拠点の利用促進					
II-1-① グラウンドの利用環境の確保			●		
II-1-② 道の駅の機能強化			●		
II-1-③ 中央エントランスとの連携強化					
II-2 地域資源を活用したアクティビティの充実					
II-2-① グラウンド等の利用促進			●		
II-2-② サイクリング系コンテンツの実施推進			●		
II-2-③ 気球やウォータースポーツ等の環境整備			●		
II-3 周辺地域資源の魅力向上					
II-3-① 三県境の活用推進					
II-3-② 田園環境・景観等の活用推進			●		
III-1 渡良瀬遊水地の利用拠点の整備					
III-1-① 道の駅の活用推進		●			
III-2 柳生駅の利用促進					
III-2-① 駅の機能強化					
III-3 柳生駅を起点とする交通手段の確保					
III-3-① バスやグリーンスローモビリティ等による移動手段の確保					
III-4 地域資源間のアクセシビリティの向上					
III-4-① 回遊性や一体性の強化					
IV-1 渡良瀬遊水地関連コンテンツの周知・啓発					
IV-1-① 治水学習系コンテンツの実施促進				●	
IV-2 ライフスタイルの提案					
IV-2-① 渡良瀬遊水地を訪れ身近に暮らすライフスタイルの発信		●			
IV-2-② 地産地消の推進		●			
IV-3 来訪者の受け入れ環境の整備					
IV-3-① 来訪を促しもてなす環境づくりやイベント等の実施					
IV-4 ファンのコミュニティ形成					
IV-4-① 交流の場づくり					
V-1 市民団体等の活動促進					
V-1-① 担い手育成					
V-2 共通プラットフォームの整備					
V-2-① 協働体制の強化					
V-2-② オリジナルサイト・オリジナルグッズ等の作成・充実					

5-4 個別方針・個別施策

施策体系の構成に基づき、5つの基本方針ごとの個別方針と、その実現に向けた個別施策及び個別事業を示します。

■個別施策に関する表内の見方

●SDGsとの関連

- ・個別施策の内容に関連するSDGsアイコンを表示しています。

●個別事業

- ・個別施策の実現に向けた事業を配置しています。
- ・第1次計画における事業の継続・実施を目指すもの、庁内外からの提案による事業化検討事項から新たに実施を目指すものを位置付けています。
- ・なお、本計画は、必ずしも年度ごとの予算措置と連動しない、長期的な目標・ビジョンとしての性格を有していることから、多種多様な事業を位置付けています。

●実施時期の区分

【短期で取り組むもの】

- ・計画期間の5年以内に、第1次計画におけるこれまでの取組をブラッシュアップし、継続する事業を位置付けています。
- ・事業化の動向を踏まえながら、5年以内に新たに実施を目指す事業を位置付けています。

【中・長期の視点で実現を検討するもの】

- ・計画期間の5年間にとらわれず、今後の事業の実現可能性等を考慮しながら、適宜実施を目指す事業を位置付けています。

●期待される実施主体

- ・各事業の取組から期待される実施主体を「行政」「市民・事業者等」「協働」に区分しています。
- ー期待される実施主体のアイコンー

■行政



■市民・事業者等



■協働



基本方針 I 渡良瀬遊水地を含む流域環境の保全 Environmental Sustainability



個別方針 I-1 | 遊水地の保全

● 遊水地の有する豊かな水辺・湿地の自然環境を将来にわたり引き継いでいく取組を進めます。

個別施策
<p>① 遊水地保全活動への支援・協力</p>

個別事業
<p>短期で取り組むもの</p> <p>1 ♡ 市内小・中学校の児童・生徒への環境学習の場の提供 </p> <p>▶ 2 ♡ 渡良瀬遊水地クリーン作戦への参加 </p> <p>3 ♡ 渡良瀬遊水地及び周辺施設の美化推進 </p> <p>4 ♡ イノシシ等有害鳥獣対策の実施 </p>

個別方針 I-2 | オニバス自生地の保全







● 希少種の生育空間となるオニバス自生地の保全・活用に向けた取組を進めます。

個別施策
<p>① オニバス自生地保全活動への支援・協力</p>

個別事業
<p>短期で取り組むもの</p> <p>5 ♡ オニバスの会の活動支援 </p> <p>▶ 6 ♡ オニバス自生地での環境学習の実施 </p> <p>7 ♡ オニバス自生地の周知や観光案内の実施 </p>

個別方針 I-3 | 農業用地の保全

- 地域の緑空間の基調となる豊かな農地の保全・活用に向けた取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 農業用地の保全への支援・協力</p> 	<p>短期で取り組むもの</p>
	<p>▶ 8♥「埼玉一の米どころ」としての農業用地の保全 </p>
	<p>中・長期の視点で実現を検討するもの</p>
	<p>▶ 9♥道の駅周辺の農地を活用した米作り体験の実施 </p> <p>10♥道の駅周辺での観光農園の整備 </p>

個別方針 I-4 | 環境に関するコンテンツの充実

- 渡良瀬遊水地を含む一帯の水・緑の環境の保全・活用に向けた取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 自然学習系コンテンツの実施促進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="background-color: #e91e63; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">4 自然学習系コンテンツの充実</div> <div style="background-color: #00bcd4; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">6 自然学習系コンテンツの充実</div> <div style="background-color: #8bc34a; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">15 自然学習系コンテンツの充実</div> <div style="background-color: #395468; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">17 パートナリングで目標を達成しよう</div> </div>	短期で取り組むもの
	<p>11 ♡ 環境学習情報の発信 </p> <p>12 ♡ 遊水地や貯水池の機能を学ぶ機会の提供 </p> <p>▶ 13 ♡ 遊水地のヨシを活用した体験活動の提供 </p> <p>14 ♡ ヨシ焼き観察会の実施 </p> <p>15 ♡ 田中正造や谷中湖の歴史を学ぶ機会の提供 </p>
<p>② 農業系(ライスパーク)コンテンツの実施促進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="background-color: #ffc107; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">2 環境を大切に</div> <div style="background-color: #8bc34a; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">15 自然学習系コンテンツの充実</div> <div style="background-color: #395468; color: white; padding: 5px; font-size: 8px;">17 パートナリングで目標を達成しよう</div> </div>	短期で取り組むもの
	<p>▶ 16 ♡ ライスパークへの市外からの来訪者向けイベント(農業体験等)の充実 </p>
<p>③ 他市町との連携強化</p> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="background-color: #395468; color: white; padding: 5px; font-size: 8px; display: inline-block;">17 パートナリングで目標を達成しよう</div> </div>	中・長期の視点で実現を検討するもの
	<p>▷ 17 ♡ ライスパークの指定管理者制度の導入 </p> <p>18 ♡ ライスパークのリニューアル </p>
	短期で取り組むもの
	<p>▶ 19 ♡ 渡良瀬遊水地利活用に関する近隣市町の取組情報の把握 </p>
	中・長期の視点で実現を検討するもの
	<p>▷ 20 ♡ 渡良瀬遊水地隣接市町との連携によるイベント等の実施 </p>

個別方針Ⅱ-1 | スポーツ・健康づくり拠点の利用促進



- 渡良瀬遊水地を含む一帯のエリアが有するスポーツを楽しむ環境や健康づくりの場としての機能をさらに高める取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① グラウンドの利用環境の確保</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 5px; text-align: center;">3 すべての人に 健康と福祉を</div> <div style="background-color: #ffc107; color: white; padding: 5px; text-align: center;">11 社会福祉的な まちづくりを</div> <div style="background-color: #2196f3; color: white; padding: 5px; text-align: center;">17 パートナーシップで 目標を達成しよう</div> </div>	<p style="text-align: center;">短期で取り組むもの</p> <p>▶ 21 ♡ 安全に利用できるグラウンドの適切な維持・管理 </p>
<p>② 道の駅の機能強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="background-color: #4caf50; color: white; padding: 5px; text-align: center;">3 すべての人に 健康と福祉を</div> <div style="background-color: #ffc107; color: white; padding: 5px; text-align: center;">11 社会福祉的な まちづくりを</div> <div style="background-color: #2196f3; color: white; padding: 5px; text-align: center;">17 パートナーシップで 目標を達成しよう</div> </div>	<p style="text-align: center;">短期で取り組むもの</p> <p>▶ 22 ♡ 道の駅レンタサイクルの充実 </p>
	<p style="text-align: center;">中・長期の視点で実現を検討するもの</p> <p>23 ♡ サイクリングやウォーキングの拠点として必要な施設の改修 </p> <p>24 ♡ 市民交流スペースの利用促進 </p>
	<p>▷ 25 ♡ 自転車やアウトドア用品等のレンタル・販売の促進 </p> <p>26 ♡ サイクリングやウォーキングの拠点としての情報発信 </p> <p>27 ♡ 駐車場の再整備 </p>
	<p style="text-align: center;">中・長期の視点で実現を検討するもの</p> <p>▷ 28 ♡ 来訪者に分かりやすい中央エントランスの案内表示等の充実 </p>

- 渡良瀬遊水地を含む一帯のエリアをいかした、より多くの人が多様な余暇活動やレジャー、イベント等を楽しむ場としての機能をさらに高める取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① グラウンド等の利用促進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">3 すべての人に健康と福祉を</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">11 国の取組にも大きくつなぐ</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">17 パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div>	<p style="text-align: center;">短期で取り組むもの</p> <p>29 ♡ スポーツ大会等の誘致 </p> <p>▶ 30 ♡ スポーツツーリズムの提案 </p> <p>31 ♡ ウォーキングコースの情報発信 </p> <hr/> <p style="text-align: center;">中・長期の視点で実現を検討するもの</p> <p>32 ♡ 道の駅でレンタルして気軽にアクティビティ </p> <p>▷ …関連する個別事業番号25</p> <p>33 ♡ 渡良瀬遊水地の水上ゴルフ場 </p>
<p>② サイクリング系コンテンツの実施推進</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">3 すべての人に健康と福祉を</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; font-size: 8px;">17 パートナーシップで目標を達成しよう</div> </div>	<p style="text-align: center;">短期で取り組むもの</p> <p>34 ♡ サイクリングコースの紹介・案内 </p> <p>▶ 35 ♡ サイクリング関連イベントの実施 </p> <hr/> <p style="text-align: center;">中・長期の視点で実現を検討するもの</p> <p>36 ♡ サイクリングの拠点として必要な施設の改修 </p> <p>▷ …関連する個別事業番号23</p> <p>37 ♡ 道の駅レンタサイクルの充実 </p> <p>▷ …関連する個別事業番号22</p> <p>38 ♡ 広域的な(他市町を含む)サイクリングの拠点としての案内・情報発信 </p>

個別施策

③ 気球やウォータースポーツ等の環境整備

3 身近な人との
健康と福祉を




17 持続可能な
社会を実現しよう




個別事業

短期で取り組むもの

▶ 39 ♡ 熱気球係留体験ウィークの開催 

中・長期の視点で実現を検討するもの

▷ 40 ♡ 水辺のアクティビティ(ヨット・カヌー・SUP・カヤック等)やスカイスポーツ(気球・スカイダイビング・グライダー等)を楽しむ環境づくり 

個別方針 II-3 | 周辺地域資源の魅力向上

- 渡良瀬遊水地周辺の水・緑をはじめとした貴重な地域資源を魅力的なものとし、多くの人が楽しみ、親しむことのできる取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 三県境の活用推進</p> <p>17 <small>パートナーシップで目標を達成しよう</small></p>	短期で取り組むもの
	41 ♡ 三県境事務担当者会議による連携強化
	▶ 42 ♡ 三県境誘導看板の整備
	43 ♡ 三県境フェア
	中・長期の視点で実現を検討するもの
	▷ 44 ♡ 三県境関連グッズの充実
	短期で取り組むもの
	45 ♡ 道の駅の周辺環境との調和に配慮した屋外広告物等の適正化
	46 ♡ 周辺堤防法面の管理(雑草)対策
	中・長期の視点で実現を検討するもの
<p>② 田園環境・景観等の活用推進</p> <p>3 <small>すべての人に健康と福祉を</small></p> <p>6 <small>安全な水とトイレを世界中に</small></p> <p>11 <small>住み続けられるまちづくりを</small></p> <p>15 <small>陸の豊かさも守ろう</small></p> <p>17 <small>パートナーシップで目標を達成しよう</small></p>	47 ♡ 湿地内への木造散策路の整備
	48 ♡ 仕出沼の池沼環境の保全・回復
	49 ♡ 仕出沼の釣り場としての機能強化
	▷ 50 ♡ 仕出沼周辺を公園として整備
	51 ♡ 旧合の川堤防の桜並木の延伸
	52 ♡ 柳生の堤の桜の保全
	53 ♡ 柳生駅～三県境～道の駅～仕出沼をつなぐ自然再生遊歩道ネットワークの整備

個別方針 Ⅲ-1 | 渡良瀬遊水地の利用拠点の整備



- 渡良瀬遊水地周辺における様々な活動の利用拠点としての役割を担う道の駅かぞわたらせや渡良瀬総合グラウンドの機能をさらに高める取組を進めます。

個別施策

① 道の駅の活用推進

2 健康な食生活

7 エネルギー・環境にやさしい生活

8 働きがいのある経済成長

11 国土強靱化による安全な生活

17 自然環境の持続可能な利用

個別事業

短期で取り組むもの









- 54 ♡ 施設内の情報案内機能の向上
- 55 ♡ 直売・飲食機能の強化
- 56 ♡ 来訪者の利用機会(休息・飲食・交流等)に応じたスペースの確保
- ▶ 57 ♡ 道の駅かぞわたらせ大型 LED 看板の活用
 - …関連する個別事業番号28
- 58 ♡ FMわたらせと連携した情報発信

中・長期の視点で実現を検討するもの

- ▶ 59 ♡ 電気自動車用急速充電設備の整備・利用促進
- 60 ♡ アンテナショップの充実
- 61 ♡ ビジター向け宿泊施設建設の誘致促進

個別方針 Ⅲ-2 | 柳生駅の利用促進

- 渡良瀬遊水地周辺の玄関口としての役割を担う柳生駅のシンボル性や利用者の利便性をさらに高める取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 駅の機能強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>11 公共空間の活用 まちづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナリングで 目標を達成しよう</p> </div> </div>	<p>短期で取り組むもの</p>
	<p>▶ 62 ♡ イベント等での柳生駅に関する(渡良瀬遊水地の玄関口であることを周知する)広報活動の展開 </p>
	<p>中・長期の視点で実現を検討するもの</p>
	<p>▶ 63 ♡ 柳生駅の駅名変更の要望 </p>
	<p>64 ♡ 柳生駅の改修(北口の開設) </p>
	<p>▶ 65 ♡ 柳生駅の北口広場及びアプローチ道路の整備 </p>
<p>66 ♡ 駅からレンタサイクルの実施 </p>	
<p>67 ♡ 民間企業等との連携による旅行ツアー等の企画検討 </p> <p style="text-align: right;">…関連する個別事業番号103</p>	

個別方針 Ⅲ-3 | 柳生駅を起点とする交通手段の確保

- 渡良瀬遊水地周辺の玄関口となる柳生駅を中心としながら、自家用車での移動のみに頼ることのない、エリア内での円滑な交通手段の確保に向けた取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① バスやグリーンスローモビリティ等による移動手段の確保</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>7 自然環境の保全 自然環境</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>11 公共空間の活用 まちづくり</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>17 パートナリングで 目標を達成しよう</p> </div> </div>	<p>中・長期の視点で実現を検討するもの</p>
	<p>▶ 68 ♡ 渡良瀬遊水地隣接市町との連携によるバス等での広域周遊ルート等の整備 </p>
	<p>69 ♡ グリーンスローモビリティ実証実験への参画 </p>

- 渡良瀬遊水地周辺に点在する地域資源間のアクセス性を向上し、回遊性や一体性をさらに高める取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 回遊性や一体性の強化</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>11 公共施設を軸に まちづくりを進め</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>17 インターネット で目標を達成しよう</p> </div> </div>	<p>短期で取り組むもの</p>
	<p>70 ♡ 道の駅かぞわたらせと周辺施設等を回遊するモデルコースの提案 </p>
	<p>71 ♡ 道の駅かぞわたらせと周辺施設等を回遊するモデルコースの情報発信 </p>
	<p>72 ♡ 道の駅かぞわたらせから広域をめぐる周遊モデルコースの提案 </p>
	<p>73 ♡ 道の駅かぞわたらせから広域をめぐる周遊モデルコースの情報発信 </p>
	<p>中・長期の視点で実現を検討するもの</p>
	<p>74 ♡ 高台に位置する道の駅の堤防階段の適正管理 </p>
	<p>75 ♡ 地域資源を回遊する移動手段の整備 </p> <p>…関連する個別事業番号68</p>

基本方針Ⅳ 渡良瀬遊水地のある暮らしの提案 Lifestyle Proposal

個別方針 IV-1 | 渡良瀬遊水地関連コンテンツの周知・啓発



●日々の安心な暮らしや快適な自然環境、様々な活動に寄与する身近な存在として、渡良瀬遊水地の持つ機能を学び、より多くの人に伝え、広めるための取組を進めます。

個別施策

① 治水学習系コンテンツの実施促進

4

治水の歴史と啓蒙を
みんなに

6

治水を身近なものにし
を啓蒙する

17

治水の歴史を学び
自然を愛する

個別事業


短期で取り組むもの

- 76 ♡ 道の駅における渡良瀬遊水地に関する情報発信の強化
- 77 ♡ 渡良瀬遊水地との暮らし(水害や防災、川の文化等)について学習する講座の実施
- 78 ♡ ハザードマップやマイ・タイムラインに関する情報周知
- 79 ♡ 道の駅の展示スペースにおける適切な資料・関連作品等の展示
- 80 ♡ 田中正造や谷中湖の歴史を学ぶ機会の提供

…関連する個別事業番号15

個別方針 IV-2 | ライフスタイルの提案

- 渡良瀬遊水地周辺で展開される様々な活動や特色ある環境が、より多くの人のライフスタイルの一部となるための取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 渡良瀬遊水地を訪れ身近に暮らすライフスタイルの発信</p>	短期で取り組むもの
	81 ♡ 柳生駅の構内掲示物・配布物の充実 
	82 ♡ 道の駅かぞわたらせホームページを通じた情報提供の充実 
	▶ 83 ♡ 市ホームページを通じた情報提供の充実 
	84 ♡ SNS による渡良瀬遊水地に関する情報発信の強化 
	85 ♡ ライスパークでの米作り体験の実施 
	…関連する個別事業番号16
	中・長期の視点で実現を検討するもの
	86 ♡ 道の駅のパンフレットや市のガイドブック等の有効活用による情報発信 
	▷ 87 ♡ 東武鉄道沿線での渡良瀬遊水地のプロモーション活動の実施 
88 ♡ 移住・定住を促す情報発信の強化 	
89 ♡ 移住・定住の場として活用できる空き家情報の提供 	








個別施策

② 地産地消の推進







個別事業

短期で取り組むもの



- 90 ♡ 道の駅での農産物の直売とPRの強化 
…関連する個別事業番号55
- 91 ♡ 遊水地周辺の飲食店との連携による北川辺こしひかりを使用したメニューの提供 
- 92 ♡ 米の直売等に関する情報提供 
- 93 ♡ ライスパークでの料理教室(そば打ち、うどん打ち等)の開催  …関連する個別事業番号16
- 94 ♡ かぞブランド認定品等の農産物のPR 

中・長期の視点で実現を検討するもの

- 95 ♡ 郷土食(炭酸まんじゅう等)を受け継ぐ料理教室の実施 
- 96 ♡ 遊水地周辺の飲食店との連携による川魚料理の提供 
- 97 ♡ 道の駅へのおむすび屋の設置 
- 98 ♡ 遊水地周辺の飲食店との連携による北川辺こしひかりを使用した変わり種おにぎりポイントの設置 

個別方針 IV-3 | 来訪者の受け入れ環境の整備

- 渡良瀬遊水地周辺への市内外からの様々な目的での来訪を増やし、受け入れる環境を強化する取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 来訪を促しもてなす環境づくりやイベント等の実施</p>	短期で取り組むもの
	<p>99 ♡ 来訪者を適切に案内する案内板等の整備 </p>
	<p>100 ♡ 渡良瀬遊水地まつり inKAZO の開催 </p>
	<p>▶ 101 ♡ 渡良瀬遊水地の案内人を育成する栃木市や板倉町との連携によるボランティアガイド養成講座の実施 </p>
	<p>102 ♡ ふるさと納税の返礼品の増加 </p>
	中・長期の視点で実現を検討するもの
	<p>103 ♡ 民間企業等との連携による旅行ツアー等の企画検討  …関連する個別事業番号68</p>
	<p>104 ♡ 地元住民との交流を促す農家民泊の実施 </p>
	<p>105 ♡ 来訪者のリピート率を高めるポイントサービスの強化 </p>
	<p>▷ 106 ♡ 外国人観光客にも配慮したGPS連動の音声ガイドの導入 </p>
<p>107 ♡ 道の駅からの宅配サービスの実施 </p>	
<p>108 ♡ 外国人観光客をターゲットにした情報発信 </p>	
<p>109 ♡ ハート型の湖の魅力にちなんだイベントの開催・PR </p>	



個別方針 V-1 | 市民団体等の活動促進



- 渡良瀬遊水地周辺のあらゆる利活用策に、より多くの人たちが主体的に関わり、活動の輪をさらに広げていくための取組を進めます。

個別施策
① 担い手育成






個別事業
短期で取り組むもの
112 ♡ 渡良瀬遊水地の案内人を育成する栃木市や板倉町との連携によるボランティアガイド養成講座の実施 …関連する個別事業番号101
113 ♡ ワークショップの開催
▶ 114 ♡ 市民活動の支援
115 ♡ 道の駅の指定管理者の活動内容の強化 …関連する個別事業番号55
116 ♡ 道の駅の生産者出荷組合との連携強化 …関連する個別事業番号55
中・長期の視点で実現を検討するもの
▶ 117 ♡ 観光・イベント・サービス等への民間事業者の参入推進

個別方針 V-2 | 共通プラットフォームの整備

- 渡良瀬遊水地が、本市において守り、いかしていくべき貴重な地域資源であると多くの人に感じてもらえるよう、みんなの共通認識をさらに高めるための取組を進めます。

個別施策	個別事業
<p>① 協働体制の強化</p>	短期で取り組むもの
	<p>118 ♡ 渡良瀬遊水地利活用に関する取組情報の一元化</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>119 ♡ 渡良瀬遊水地利活用に関する取組情報の一律発信</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>120 ♡ 共通の目的意識や連帯感を高めるユニフォーム(法被・Tシャツ等)の作成</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>▶ 121 ♡ 実行委員会方式による渡良瀬遊水地まつり inKAZO の開催</p> <p style="text-align: center;"></p> <p>…関連する個別事業番号100</p>
	<p>122 ♡ 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会や三県境事務担当者会議との情報共有体制の確保</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>123 ♡ 民間事業者等による駅前活性化に向けたイベント等への支援</p> <p style="text-align: center;"></p>
	中・長期の視点で実現を検討するもの
	<p>124 ♡ 渡良瀬遊水地保全・利活用協議会や三県境事務担当者会議による広域連携の推進</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>▷ 125 ♡ 様々な施策(案内・サービス・体験提供等)を展開する指定管理者の運営体制の継続</p> <p style="text-align: center;"></p>
	<p>126 ♡ 渡良瀬遊水地隣接市町とのイベント等の共催</p> <p style="text-align: center;"></p>

個別施策
<p>② オリジナルサイト・オリジナルグッズ等の作成・充実</p>
<p>8 農産物等の 販売促進</p> <p>17 エコデザインで 環境を創出すべし</p>

個別事業
短期で取り組むもの
▶ 127♥ SNS活用によるプラットフォームづくり 
中・長期の視点で実現を検討するもの
128♥ 「LOHAS Station かぞわたらせ」のロゴの活用 
▷ 129♥ 既存オリジナルグッズ(ダムカード・三県境プレート等)のブラッシュアップ 
130♥ 北川辺の地域資源をモチーフに小さなフィギュアの作成・ガチャでの販売 
131♥ 農産物等をいかした新たなオリジナル商品等の研究開発 

【全体構成図】

計画の期間：5年間（令和8年度～令和12年度） 計画の対象地：渡良瀬遊水地の加須市該当エリア、北川辺地域及びその周辺（“かぞわたらせ”と呼称）

I 計画策定の前提条件・課題の整理

▶ 基本的な条件

- ① 遊水地の環境保全
- ② 治水と歴史、自然環境保全に関する周知・啓発
- ③ 遊水地を活用したアクティビティとの連携
- ④ 地域資源の活用

▶ 社会情勢の変化

- ① 余暇重視のライフスタイルの広がり
- ② 農業環境への関心の高まり
- ③ ウェルビーイング志向の高まり
- ④ 協働のまちづくり
- ⑤ 加須市として一体感があるまちづくり
- ⑥ 治水・防災への関心の高まり
- ⑦ SDGs に関する取組の実施

▶ 計画策定に当たっての6つの課題

- 1 市民の渡良瀬遊水地に対する親近感の醸成
- 2 周辺施設等への制約条件・地理的特性を踏まえた取組の推進
- 3 豊富なアイデアに対する担い手不足の解消
- 4 柳生駅のポテンシャルの活用
- 5 共通性・ストーリー性の強化
- 6 他市町との連携及び差別化の推進

→ 考慮

II 計画策定の3つの戦略

- 戦略1 「かぞわたらせ」の個性は“渡良瀬遊水地の玄関口”
- 戦略2 市民みんなが「かぞわたらせ」を身近に感じられる存在に
- 戦略3 行政による担い手育成と市民協働

集約

3つの戦略（まとめ）
市民とともに将来像を描き、実現していくための計画

III 計画の方針

▶ 基本理念

ラムサール条約の理念である湿地の「保全（・再生）」「ワイルドコース（賢明な利用）」「交流・学習（CEPA）」の推進の考え方を踏襲
※第1次計画における基本理念と同様

展開

▶ 基本コンセプト

渡良瀬遊水地の活用における基本理念や、計画策定の戦略の内容等を踏まえた第2次計画の将来像

LOHAS Station かぞわたらせ

“LOHAS Station かぞわたらせ”とは－
水、空、湿地、自然、生き物、農業、スポーツ、健康づくり、生活、地域コミュニティ、来訪者、周辺市町等が交わる渡良瀬遊水地での活動の出发点
市民をはじめ、より多くの人々が活用策に関わり、交流するための取組を推進

－ロコ－



反映

▶ 5つの基本方針

基本方針Ⅰ
渡良瀬遊水地を含む流域環境の保全

▶ 個別方針

- 1 遊水地の保全
- 2 オニバス自生地の保全
- 3 農業用地の保全
- 4 環境に関するコンテンツの充実

▶ 個別施策

- ① 遊水地保全活動への支援・協力
- ① オニバス自生地保全活動への支援・協力
- ① 農業用地の保全への支援・協力
- ① 自然学習系コンテンツの実施促進
- ② 農業系（ライスパーク）コンテンツの実施促進
- ③ 他市町との連携強化

基本方針Ⅱ
地域資源を活用した様々な活動や健康づくりの推進

- 1 スポーツ・健康づくり拠点の活用促進
- 2 地域資源を活用したアクティビティの充実
- 3 周辺地域資源の魅力向上

- ① グラウンドの利用環境の確保
- ② 道の駅の機能強化
- ③ 中央エントランスとの連携強化
- ① グラウンド等の活用促進
- ② サイクリング系コンテンツの実施促進
- ③ 気球やウォータースポーツ等の環境整備
- ① 三泉郷の活用推進
- ② 田園環境・景観等の活用推進

基本方針Ⅲ
地域資源と連携した拠点整備と回遊性の向上

- 1 渡良瀬遊水地利用拠点の整備
- 2 柳生駅の利用促進
- 3 柳生駅を起点とする交通手段の確保
- 4 地域資源間のアクセス性の向上

- ① 道の駅の活用推進
- ① 駅の機能強化
- ① バスやグリーンズローモビリティ等による移動手段の確保
- ① 回遊性や一体性の強化

基本方針Ⅳ
渡良瀬遊水地のある暮らしの提案

- 1 渡良瀬遊水地関連コンテンツの周知・啓発
- 2 ライフスタイルの提案
- 3 来訪者の受け入れ環境の整備
- 4 ファンのコミュニティ形成

- ① 治水学習系コンテンツの実施促進
- ① 渡良瀬遊水地を訪れ身近に暮らすライフスタイルの発信
- ② 地産地消の推進
- ① 来訪を促してもてなす環境づくりやイベント等の実施
- ① 交流の場づくり

基本方針Ⅴ
市民主体・協働事業の推進

- 1 市民団体等の活動促進
- 2 共通プラットフォームの整備

- ① 担い手育成
- ① 協働体制の強化
- ② オリジナルサイト・オリジナルグッズ等の作成・充実

【スキーム図】

▶ 基本理念

：ラムサール条約の理念である湿地の「保全（・再生）」「ワイルドコース（賢明な利用）」「交流・学習（CEPA）」の推進の考え方を踏襲

▶ 基本コンセプト LOHAS Station かぞわたらせ

- 水、空、湿地、自然、生き物、農業、スポーツ、健康づくり、生活、地域コミュニティ、来訪者、周辺市町などが交わる渡良瀬遊水地での活動の出發駅
- 市民をはじめ、より多くの人が利活用に関わり、交流するための取組を推進

▶ 5つの基本方針とそれに基づく個別方針

基本方針Ⅰ 渡良瀬遊水地を含む流域環境の保全

- 1 遊水地の保全
- 2 オニバス自生地の保全
- 3 農業用地の保全
- 4 環境に関するコンテンツの充実

基本方針Ⅱ 地域資源を活用した様々な活動や健康づくりの推進

- 1 スポーツ・健康づくり拠点の利用促進
- 2 地域資源を活用したアクティビティの充実
- 3 周辺地域資源の魅力向上

基本方針Ⅲ 地域資源と連携した拠点整備と回遊性の向上

- 1 渡良瀬遊水地の利用拠点の整備
- 2 柳生駅の利用促進
- 3 柳生駅を起点とする交通手段の確保
- 4 地域資源間のアクセシビリティの向上

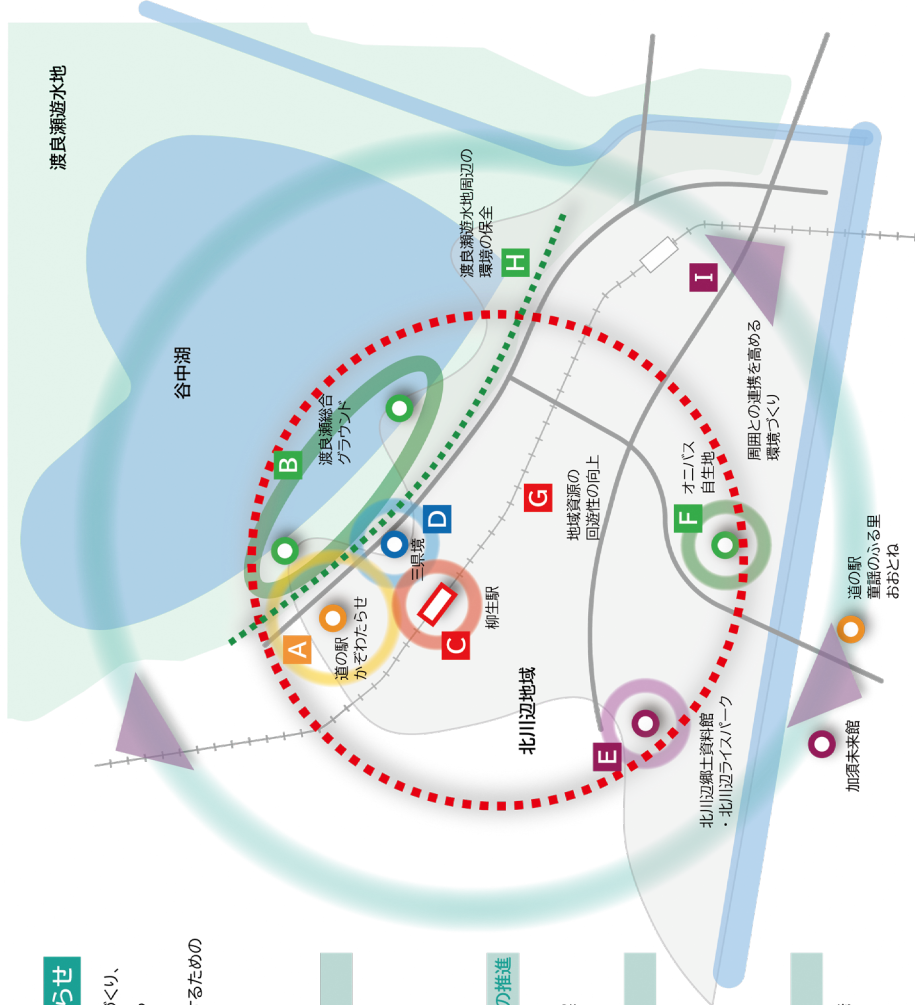
基本方針Ⅳ 渡良瀬遊水地のある暮らしの提案

- 1 渡良瀬遊水地関連コンテンツの周知・啓発
- 2 ライフスタイルの提案
- 3 来訪者の受け入れ環境の整備
- 4 ファンのコミュニティ形成

基本方針Ⅴ 市民主体・協働事業の推進

- 1 市民団体等の活動促進
- 2 共通プラットフォームの整備

－ 図 個別施策の展開：主要なもの －



LOHAS Station かぞわたらせ

【計画の対象地】 渡良瀬遊水地の加須市該当エリア、北川辺地域及びその周辺

【注】 本計画において対象地を表現する際、渡良瀬遊水地が加須市の有する大きな魅力の1つであること、遊水地と周辺の地域資源が一体となって利活用を推進していくことを念頭に、道の駅やFM局にも名称として使用され、認知度が高まりつつある「かぞわたらせ」の呼称を用いている。

▶ 個別施策：主要なもの

※ [] 内番号…関連基本方針・個別方針

- A** 道の駅かぞわたらせ
- ◎ 道の駅の機能強化【Ⅱ-1】
- ◎ 道の駅の活用推進【Ⅲ-1】
- B** 渡良瀬総合グラウンド
- ◎ グラウンドの利用環境の確保【Ⅱ-1】
- ◎ グラウンド等の利用促進【Ⅱ-2】
- C** 柳生駅
- ◎ 駅の機能強化【Ⅲ-2】
- D** 三県境
- ◎ 三県境の活用推進【Ⅱ-3】
- E** 北川辺郷土資料館・北川辺ライスパーク
- ◎ 農業系（ライスパーク）コンテンツの実施促進【Ⅰ-4】
- F** オニバス自生地
- ◎ オニバス自生地保全活動への支援・協力【Ⅰ-2】
- G** 地域資源の回遊性の向上
- ◎ 回遊性や一体性の強化【Ⅲ-4】
- H** 渡良瀬遊水地周辺の環境の保全
- ◎ 遊水地保全活動への支援・協力【Ⅰ-1】
- ◎ 気球やウォータースポーツ等の環境整備【Ⅱ-2】
- I** 周囲との連携を高める環境づくり
- ◎ 他市町との連携強化【Ⅰ-4】
- ◎ 渡良瀬遊水地を訪れ身近に暮らすライフスタイルの発信【Ⅳ-2】
- 全域**
- ◎ 自然学習系コンテンツの実施促進【Ⅰ-4】
- ◎ サイクリング系コンテンツの実施促進【Ⅱ-2】
- ◎ 治水学習系コンテンツの実施促進【Ⅳ-1】
- ◎ 地産地消の推進【Ⅳ-2】
- ◎ 来訪を促してもたす環境づくりやイベント等の実施【Ⅳ-3】
- ◎ 担い手育成【Ⅴ-1】

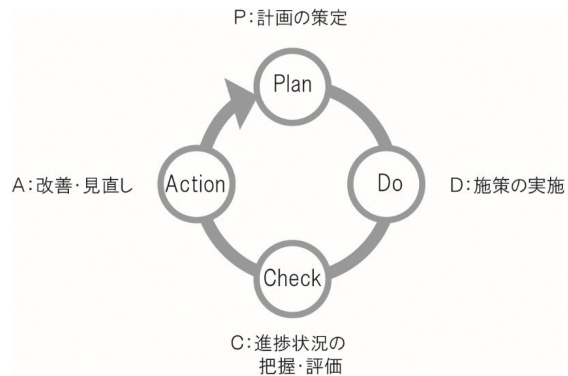
6 計画の推進に向けて

6-1 計画の進行管理

① 進行管理の流れ

本計画の進行管理は、「加須やぐるまマネジメントシステム」の考え方を踏まえ、個別施策の実現に向けたすべての個別事業の進行状況について、本計画の進行管理シート等の内容に基づき、【Plan(計画)】【Do(実施)】【Check(点検・評価)】【Action(見直し)】のPDCAサイクルによる検証を毎年度実施するものとします。

－PDCAサイクルのイメージ－



なお、毎年度の検証に当たっては、本計画の主管部署において、事業の実施状況や事業が抱える問題・課題と合わせ、今後の上位・関連計画の見直しや社会経済情勢の変化、広域における渡良瀬遊水地の利活用に関する取組の動向等を考慮し、その都度、事業の統合・再編や、事業に関わる担当課等との調整等を実施し、次期計画の効果的・効率的な見直しにつなげていくものとします。

② 計画の達成度の把握

本計画の達成度については、アクションプラン※に位置付ける個別事業の取組内容に基づきながら、事業の達成度評価基準による評価及び基本方針レベルでの達成度評価基準による評価により把握するものとします。

併せて、本計画の取組の柱となる5つの基本方針に関する最終目標指標(各事業の実施によって得られる総合的な結果)を設定し、計画期間の最終年度に把握するものとします。

※個別事業ごとに、いつ、だれが、なにを行うか等について定める行動計画のこと。

－最終目標指標－

最終目標指標		現状値 令和6年度	最終目標 令和12年度
基本方針Ⅰ	オニバス自生地来訪者数	1,580人	1,600人
基本方針Ⅱ	道の駅かぞわたらせ利用者数(レジ通過者)	177,463人	246,000人
基本方針Ⅲ	東武日光線柳生駅の年間乗降客数	374,640人	379,000人
基本方針Ⅳ	渡良瀬遊水地まつりの来場者数	5,500人	6,000人
基本方針Ⅴ	渡良瀬遊水地まつり等のイベントボランティア参加者数	23人	50人

6-2 計画の推進体制

①庁内推進体制の整備

本計画の総合的かつ計画的な推進を図るため、本計画の主管部署による対応のみならず、広く関連する各担当課を含めた「渡良瀬遊水地利活用庁内推進委員会」を組織し、庁内の横断的連絡調整体制による検討に基づいた、各個別事業の適切な実施に努めるものとします。

②協働による取組の推進

行政と市民・事業者等との連携・協力や適切な役割分担に支えられた、より多くの人が利活用策に関わる協働の取組を基本とし、市民・事業者等が参画しやすい環境づくりを進めます。

市内外の多くの人たちを巻き込み、利活用策の取組の恒常化や活発化につなげていくための端緒として、興味・関心を惹くプロジェクトの実施による取組の見える化や情報発信、取組への参加のハードルを下げるスポット参加・おためし参加によるプログラムの実施等に努めるものとします。

また、各種講座やワークショップの実践を通じ、イベントをはじめとする利活用策の担い手育成に努めます。

③関係機関や他市町等との連携

渡良瀬遊水地の利活用策の推進に当たっては、日常的な管理を行う国土交通省関東地方整備局利根川上流河川事務所や一般財団法人渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団をはじめ、関係自治体や関係団体等で構成される渡良瀬遊水地保全・利活用協議会、埼玉県、渡良瀬遊水地を囲む栃木県、群馬県、茨城県を含む4市2町等との緊密な連携を図り、渡良瀬遊水地を囲むエリア一帯を盛り上げる取組を進めていきます。